

2.16 チェコ

2.16.1 概要¹⁷⁹

人口は 1,067 万人（2018 年）、面積は日本の約 5 分の 1 である。

国土の三方を山脈で囲まれ、山岳地帯は主に林地や牧草地として活用されている。中西部を縦断するブルタヴァ川周辺には肥沃なボヘミア盆地が広がり、農業の中心となっている。全土で畜産業、穀物生産が行われ、中央北部ではてん菜、中央南部ではばれいしょ、東南部ではとうもろこしが生産されている。主要農産物は、小麦、てん菜、大麦、菜種、生乳、豚肉等である。



ホップの生産量は世界第 4 位（2016 年）。

日本のホップ輸入量の 2 割を占め、ドイツに次ぐ第 2 位の輸入先である（2017 年）。

1 経営体当たりの平均経営面積は 133.0ha（2013 年）である。国内総生産に占める農林水産業の比率は 2.0%（日本は 1.1%）である。

農林水産業の地位（2018 年） 単位：億 US ドル、%

	チェコ		日本	
	名目額	比率	名目額	比率
国内総生産（GDP）	2,452	100.0	49,713	100.0
うち農林水産業	48	2.0	564	1.1

資料：国連統計

日本との農林水産物貿易をみると、日本からチェコへの輸出額が 200 万 US ドルであるのに対し、チェコから日本への輸入額は約 1 億 1,600 万 US ドルである（2019 年）。日本の輸出上位品目は緑茶、醤油、味噌であり、チェコからの輸入上位品目はペットフード、製材、麦芽である。

¹⁷⁹ チェコの農林水産業概況、農林水産省 2018、2020
https://www.maff.go.jp/j/kokusai/kokusei/kaigai_nogyo/attach/pdf/index-183.pdf

農林水産物貿易概況（2019 年） 単位：百万 US ドル

	輸出 (日本→チェコ)	輸入 (チェコ→日本)	日本の収支
総額	1,600	1,123	477
農林水産物	2	116	▲114
農林水産物のシェア	0.1	10.3	-

資料：財務省貿易統計

農林水産物貿易上位 5 品目（2019 年）

輸出：日本→チェコ（単位：万 US ドル%） 輸入：チェコ→日本（単位：万 US ドル%）

品目名	輸出額	シェア	品目名	輸入額	シェア
緑茶	53	30.7	ペットフード	4,968	43.0
醤油	22	12.9	製材	3,763	32.6
味噌	8	4.4	麦芽	1,053	9.1
酵母	7	4.2	ホップ	739	6.4
植木等	7	4.0	たばこ	150	1.3
総額	171	100.0	総額	11,550	100.0

資料：財務省貿易統計

原産地呼称保護（PDO）は、チェコ語で Chráněné označení původu（CHOP）、地理的表示保護（PGI）は Chráněné zeměpisné označení（CHZO）と呼ぶ。チェコの農産物・食品の GI 取得状況は、PDO 6 件、PGI 23 件、合計 29 件（2020 年 12 月末時点登録済）となっており、ポーランドに次ぐ第 8 位である。品目別にみると、PDO はその他（スパイス等）としてのホップが登録されているのが特徴であり、PGI はビール、パン・菓子類が多い。

品目別 GI 登録件数

品目	PDO	PGI
Class 1.3. チーズ	-	3
Class 1.6. 果物、野菜、穀類	2	1
Class 1.7. 水産物	1	1
Class 1.8. その他（スパイス等）	3	-
Class 2.1. ビール	-	9
Class 2.3. パン、菓子類	-	9
総数	6	23

EU eAmbrosia データベース、2020 年 12 月末時点登録済

2.16.2 GI 監視スキーム

チェコでは農業省（MZe）が GI に関する政策を所掌し、農産物・食品、ワイン、スピリッツ等すべての GI 品目を扱う。

中央政府

機関名	住所	連絡先
農業省 (Ministerstvo zemědělství : MZe)	Tesnov 17 117 05 Prague 1	Tel. +420 221811111 Fax. +420 224810478 Email: info@mze.cz

EUIPO (2017)¹⁸⁰

欧州委員会は、農産物・食品の GI 監視当局として 3 機関を公表している。このうち農業食品検査局（SZPI）は植物由来食品、ワイン、スピリッツを担当し、家畜管理局（SVS）は、動物由来食品を担当する。農業監督試験中央研究所は、植物品種、飼料、土壌、植物の栄養、病虫害等を対象とする国立の検査機関である。

GI 監視当局（EU 規則 No.1151/2012 第 38 条に基づく）

機関名	住所	連絡先
農業食品検査局 (Státní zemědělská a potravinářská inspekce : SZPI)	Kvetná 15, 60300 Brno	Tel. +420 542426635 Email: info@szpi.gov.cz
家畜管理局 (Státní veterinární správa : SVS)	Slezská 7, 12056 Praha 2	Tel. +420 227010111 Email: epodatelna@svscr.cz
農業監督試験中央研究所 (Ústřední kontrolní a zkušební ústav zemědělský)	Hroznova 2 60300 Brno	Tel. +420 543548111 Email: podatelna@ukzuz.cz Website: http://eagri.cz/public/web/ukzuz/portal

EUIPO (2017)、欧州委員会ウェブサイト（2020 年 11 月現在）¹⁸¹

SZPI、SVS の両機関は、地域ユニットを通じてサプライチェーン全体の監視を実施する。SZPI の監視は食品安全の活動の一環として不定期に行われ、国内外の GI 産品も対象とされる。国内で生産された動物由来品に違反があれば、SVS に連絡し、SVS が事業者と対応する。

SVS は、検査対象を限定した特別な監視も実施することがある。例えば中・東欧ではクリスマスの時期に鯉料理を食べる習慣があり、その時期にチェコの PDO である Pohořelice Carp や PGI である Třeboň Carp を含むクリスマス用の鯉を対象として市場監視が実施されている。

¹⁸⁰ EUIPO (2017) Protection and control of geographical indications for agricultural products in the EU member states. Annex, Guide for public authorities and economic operators.

¹⁸¹ https://ec.europa.eu/info/sites/info/files/food-farming-fisheries/food_safety_and_quality/documents/national-competent-authorities-food-sector_en.pdf

SZIP の 2019 年の年次報告によると、GI に関して 84 件の調査を実施している¹⁸²。117 のサンプルを採取してラボで検査したが、問題は認められなかった。

他の EU 加盟国とも EU Food Fraud Network を通じて連携しており、SZPI はその窓口である¹⁸³。2019 年は 169 件の通知がオンラインで交わされ、うち 113 件がチェコから発出した通知、56 件が他の EU 加盟国からチェコへの通知であった。



オロモウツ地方ロシュティツェのトヴァルシュキチーズ
Olomoucké tvarůžky (PGI)

南ボヘミアのニヴァチーズ Jihoceska niva
(PGI、国内認証制度の Klasa ラベル)



ラデガストビール ピルスナーウルケルビール ベルナードビール (PGI)

¹⁸² <https://www.szpi.gov.cz/en/article/cafia-annual-report-2019.aspx>

¹⁸³ 2020 年 9 月現在 https://ec.europa.eu/food/sites/food/files/safety/docs/food-fraud_contact_points.pdf

2.16.3 GI 侵害の事例

チェコでは、他国の GI 産品の侵害に関する事例は見当たらなかったが、自国の GI 登録を巡り、近隣諸国との間で問題になることが多い。中・東欧地域では歴史的に国境が変遷していることもあり、同じ食品の名称が現在の国境を越えて広く使用されるなど、GI を特定の国に帰属認定することが困難なようである。その対応として、地域特有の原材料や製法を認定してもらうほか、GI としてではなく TSG として近隣諸国と共同申請する例もある。

チェコ対スロバキア「ニヴァチーズ」問題

チェコは、南ボヘミアで生産されるニヴァチーズ（Jihoceska niva）と南ボヘミアゴールドニヴァチーズ（Jihoceska zlata niva）を 2004 年チェコの EU 加盟と同時に PGI として登録申請した。しかし隣国のスロバキアが登録に反対。かつてチェコと 1 つの国であったスロバキアでは、国内で生産されたチーズにニヴァと命名する伝統があり、ニヴァという名称は特定の地域に関連した呼称ではなく、チーズの一般的な呼称であると反対した。

最終的にチェコの主張が認められ、申請通り 2 種のチーズは 2010 年にチェコの PGI として登録された。

一方、同じ時期に、シュペカチュキ・ソーセージ（špekáčky）やスピシュ・ソーセージ（spišské párky）、ロベツ・サラミ（lovecký salám）などの肉加工品について、TSG としてチェコとスロバキアが共同登録することとなった。

(https://www.lidovky.cz/byznys/firmy-a-trhy/cesko-porazilo-slovak-y-jihoceska-niva-je-pod-ochranou-eu.A091209_150608_firmy-trhy_nev)

チェコ対ドイツ、オーストリア「オロモウツ・トヴァルシュキチーズ」問題

チェコは、オロモウツ地方ロシュティツェで生産されてきたトヴァルシュキチーズ（Olomoucké tvarůžky）を 2004 年チェコの EU 加盟と同時に PGI として登録申請した。しかし隣国のドイツとオーストリアが登録に反対。両国では、ドイツ語で Olmützer Quargel（オロモウツチーズ）という名称の産品を広く生産販売していたのである。

最終的にチェコの主張は認められ、申請通り 2010 年にチェコの PGI として登録された。一方、ドイツとオーストリアの Olmützer Quargel（オロモウツチーズ）の生産者は、名称の変更に 5 年間の移行期間が与えられた。

(https://olomoucky.denik.cz/zpravy_region/olomoucke-tvaruzky-ziskaly-pres-namitky-nemcu-chra.html)

チェコ対ドイツ、オーストリア「カルロヴィヴァリ・ウェハース」問題

チェコは、ドイツ国境近くのカルロヴィヴァリで生産されるウェハース（Karlovarské oplatky）を 2004 年チェコの EU 加盟と同時に PGI として登録申請した。しかし隣国のドイツとオーストリアが登録に反対。そもそも歴史的にドイツ人が多く居住していた地域で生産されてきた品であり、両国ではドイツ語で Karlsbader Oblaten(カルロヴィヴァリ・ウェハース) という名称で生産販売していること、ウェハースの生産技術はドイツやオーストリアの知的財産にもあたる等と主張した。

一方、チェコ側は、チェコ産品にのみカルロヴィヴァリの湧き水が使用されているとして争った。最終的にチェコの主張が認められ 2011 年にチェコの PGI として登録された。ドイツとオーストリアの Karlsbader Oblaten の生産者は、名称の変更に 5 年間の移行期間が与えられた。

(https://www.tyden.cz/rubriky/domaci/brusel-po-letech-rozhodl-spor-o-oplatky-patri-karlovym-varum_202880.html)

「ブラハハム」問題

TSG 登録においても、GIと同様の問題がある。チェコは、ブラハハム（Prazska sunka）を TSG 登録申請したが、ドイツ、オーストリア、イタリア、セルビア、スロバキアが登録に反対した。特に自国の生産事業者への悪影響を恐れたスロバキアは強固に反対した。

その背景には、ブラハハムの長い歴史がある。生産がヨーロッパ各地に広まるにつれて本来のレシピは希釈化し、それぞれの解釈により変化していき、今では同じブラハハムの名のもとに様々な製品が存在する状況となった。例えばチェコのブラハハムは 92%が豚肉で作られるが、スロバキアのブラハハムは 65%が豚肉で鶏肉が含まれることもある。

最終的にはチェコの主張が認められ、ブラハハムは 2018 年にチェコの TSG として登録された。2023 年までの 5 年間は、どの生産者もそれぞれのブラハハムを生産できるとされた。歴史的な背景を踏まえると、チェコ以外の国の生産者たちの異議も根拠のないものではなく、合意にいたるまでの道のりは複雑だった。

(<https://euractiv.cz/section/aktualne-v-eu/news/prazska-sunka-ma-ode-dneska-oficialne-evropskou-znacku-zarucene-tradicni-speciality/>
<https://www.euro.cz/byznys/prilis-rozmelneni-sunka-1424434>
<https://www.zemedelec.cz/navrh-uzenaru-odmita-slovensko/l/>)